

小規模多機能型居宅介護「令和2年度サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人星隆会	代表者	田中朝美	法人・事業所の特徴	法人としては家庭的な雰囲気を大事に、園児、高齢者、家族、その「ひとりひとりに寄り添う」ことを大事にしている。建物に木を多用したやわらかい雰囲気の中で、小規模で家庭的な暖かさを大事にしながら、通い、訪問、泊まりの3つのサービスを柔軟に組み合わせて、ご利用者が安心して地域の中で生活を継続できるよう支援にあたっている。また認知症を持つ人への非薬物的療法的な効果を期待して音楽、ニュースポーツ、ゲーム、クラフト、回想などアクティビティの充実に努めている。
事業所名	小規模多機能ホーム きいちご倶楽部	管理者	山崎賢二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所スタッフ	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	1人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員間でスムーズに情報が行きわたるように、また情報共有が円滑に進むように、会議、ミーティング、連絡ノート、記録等で検討し実施していく。	朝ミーティング、連絡ノート、利用者個別ファイル、職員会などを活用して情報収集共有に努めた。職員会議にはZOOMも活用した。	スタッフ自己評価において「あまり（全く）達成できていない」と回答したスタッフが多いが、評価するスタッフに介護の仕事が未経験のものがいること、経験や評価基準にばらつきがあることも原因なのではないか。今後は個別計画やケアプランなど職員間で共有するようにしてゆく。	事業所自己評価における改善計画について、毎月の職員会議において、定期的（4半期ごと）に計画に対する達成の状況を振り返って、次の期間における取組みに活かすようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔面・避難経路の維持のために、物品整理、掃除・消毒等をおこない環境整備をおこなっていく。	環境美化委員会のメンバーを中心に清掃、消毒、美化のための取り組みを計画、実施できた。	各委員が事業所を訪ねる機会が少ないため、わからない点が多い。会議では周辺の写真をみていただいた。事業所に施錠されているかどうか、職員からの聴きとりにより施錠されていないことが確認された。	感染症対策としての清潔、消毒を徹底する。所外の環境（植栽、花壇、除草、周辺美化）を整備して、近隣の住民の方に好ましい印象を持ってもらえるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり	法人（グループホーム・保育園）と連携をとりながら、自治体や地域での行事や課題等に対して情報収集をおこなう。地域との接点を増やすことで地域貢献に繋げていく。	コロナ禍もあり地域の行事などに事業所として参加することが難しかった。地域自治会の清掃に参加している。行事についてFacebookでの情報発信では、一定数のフォロワーによって見られ評価されている。	コロナ禍のためボランティアの受け入れができなかった。電話で職員は気持ちのいい挨拶やうけ応えができていたと感じた。	地域で年1回行われる清掃活動のほかに、独自に事業所の周辺の美化清掃活動を行う。事業所前の看板等で「介護についての困りごとがあればご相談ください」との掲示を行う。
D. 地域に出向いて利用者の暮らしを支える取組み	地域行事・活動に積極的に参加しながら社会資源の活用を図る。問題が生じれば、自治体や地域包括支援センターとも協力しながら解決に向けて取り組む。	利用者と食事、清掃、洗濯、園芸、畑作り、レクリエーション、外出、行事参加など行ってきた。コロナに留意しながら、保育園と連携していくつかの行事に参加していただいた。	コロナ禍のためご利用者が地域の行事に参加することができなかった。収束に向かってゆけば、また地域の施設、行事、イベントなどに徐々に参加していただきたい。	法人の保育園、グループホームと連携して季節の行事などを企画して参加する。コロナ禍の対応の状況を見極めながら、地域の行事への参加を検討する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通じて、情報の発信、また意見・アドバイスをもらい、地域に開かれた事業所を目指す。改善計画の実行の状況を運営推進会議に報告する。	運営推進会議において毎回、当該対象期間における改善計画についての取組み状況を報告した。	運営推進会議において毎回改善計画についての取組み状況を報告し、委員の方から意見を伺っている。	改善計画の実行状況を運営推進会議で報告し、意見を伺って改善に生かす。
F. 事業所の防災・災害対策	様々な災害を想定し、対応できる防災計画を作成し、定期的に防災訓練をおこなう。地域との連携にも努めていく。	事業所では火災避難計画、水害避難計画、防災避難計画を市・県の指導を受けながら策定している。	想定している避難場所までの移動を実地にしたことがなければ訓練しておくことが必要だろう。	避難計画に沿ってより具体的な避難訓練（避難場所への移動等）を実施する。避難行動に必要な防災用品の整備に努める。

